

# 平成24年度学校評価結果分析と改善方策（教職員）

岩手県立宮古工業高等学校

1 回収率 100%(45/45)

## 2 総評(全体の傾向)

- アンケート全項目の評価平均は、3.10となり判定はBであるが、かなり高い値となった。比較対象とした平成20年度はデータとして確認できる最新のもので、その後の平成21～22年度までのものは津波の被害で流失している。また、去年は他校での再開で、学校評価を実施していない。評価平均を平成20年度と比較してみると、2項目以外はプラスの評価となった。
- 本校は津波被害校として、多くの支援を受けたり復興交流事業を行った。このことによる[奉仕活動による地域貢献][外部からの協力依頼への積極的対応][生徒会活動の充実][学校行事の充実]において高い評価を示している。また、生徒の活躍も例年になく多く、懸賞幕を9本飾ることができた。
- [PTA関係の行事の参加率の向上]と[基礎学力の向上]の項目は前回同様にC判定で点数が低い。学力の2極化傾向も見られるが、下位の生徒をどのようにのばすかが課題である。生徒指導の充実については各項目ともプラスである。
- 進路指導の徹底では、早期進路決定100%を達成したこともあり全体としてかなりプラスとなっている。資格取得の項目も以前に比べて、受験可能の検定も増えたことや指導体制の充実されたことでかなりポイントを上げている。

重点目標	具体的目標等	課題	改善方策等
開かれた学校づくり	1 保護者・地域への情報発信	①保護者や地域に情報が不足している ②HPの更新が足りない	→ 時間や回数を増やして発信 → 定期的な更新
	2 本校の取組への認知度向上	①マスコミに取り上げられているが認知度不足	→ 宣伝の仕方の工夫
	3 奉仕活動による地域貢献	①クリーン作戦の工夫 ②農地ボランティアが単発になっている	→ クリーン作戦の次の一手を工夫する → 継続したボランティア活動
	4 外部からの協力依頼への積極的対応	①今年はとて多く、一部の負担が多かった	→ 組織対応や厳選して受入れ
	5 PTA活動の活性化と参加率向上	①PTA総会・地区PTAへの参加率が悪い ②研修旅行の参加者が少ない	→ 保護者への参加の働きかけの工夫
基礎学力の向上	6 学習環境の整備・充実	①津波被害による環境整備 ②老朽した機器等の更新	→ 優先順位を考慮して整備する
	7 基礎学力の充実	①基礎学力が定着していない生徒 ②基礎学力の定着不足、学習意欲の低さ	→ 教科間で連携し、情報の共有や効率的な補習ができる体制を構築する。週課題を検討する。
	8 成績不振者への適切な対応	①担当者により対応の温度差がある ②試験前の補習の成果不足 ③継続的な指導が必要	→ 職員の意識統一した指導 → 教科担任、担任が連絡を密にし参加率向上 → 個別指導の実施と充実
	9 教科に関する指導力の向上（わかる授業）	①二極化への対応 ②生徒が興味を持てる授業展開	→ 個別指導の実施と充実 → 教材研究の深化
	10 評価の改善・充実	①評価の研究	→ 評価の仕方や基準を検討
	11 個に応じた指導の展開	①放課後学習指導 ②長期の計画的指導が必要	→ 進学者対策と補習の実施
生徒指導の充実	12 基本的な生活習慣の確立	①「遅刻カード」導入により減少、特定生徒が目立つ ②整容指導を受ける生徒が固定化	→ 遅刻が多い生徒への徹底指導 → 担任・科・生徒指導部が連携しての指導
	13 規範意識・公共心等の育成	①土足やゴミ捨てなどが時々ある ②登下校のマナーの改善が必要	→ 注意の喚起マナーの徹底した指導 → 定期的な巡回指導
	14 安全な学校生活（交通ルール、人命尊重）	①いじめが何件かあった ②自転車のマナーが悪い	→ 生徒の動向の観察並びに密なる情報交換 → 交通安全指導の強化
	15 生徒会活動の充実	①一般の生徒にあまり見えない	→ 生徒会活動の共通理解
	16 学校行事の充実	①無関心的生徒をなくす働きかけ必要	→ 生徒会行事の活性化
	17 教育相談体制の充実	①スクールカウンセラーの活用	→ 積極的な面談
	18 健全育成に係る外部講師の招聘	①一層の充実が必要	→ 講演会の内容の精査
	19 部活動の指導力の向上	②多忙により部活動時間不足	→ 仕事の分担・人員配置の検討
	20 部活動環境の維持・改善	①津波被害による設備不足	→ 継続的な依頼による設備確保
進路指導の徹底	21 進路に関する情報把握	①情報の提供が少ない	→ 全職員への進路状況を把握できる資料の配付
	22 きめ細かい進指導の展開	①指導の開始時期を早くすべきだと思う ②進学者に対する学力向上のための指導が必要	→ 早めの進路指導 → 放課後講習の実施、添削指導
	23 卒業生の定着状況の把握	①定着率の向上が課題	→ 卒業後も定期的に連絡を取り合い情報の収集
	24 職業観・勤労観の育成	①一部の生徒には不十分	→ 現在の雇用状況を早い時期から生徒へ伝える
	25 地域、行政等との連携	①継続的な連携と充実	→ 市や振興局との密な連携の推進
	26 資格取得率の向上	①資格取得の経費と意識不足 ②受験率は高いが、合格率は伸びていない	→ 意識の高揚、説明の工夫 → 講習会等時間をかけた指導が必要
環境の美化	27 生徒の健康管理指導の強化	①保護者への理解が乏しいと思う ②指導はしているが、自己管理甘い生徒が多い	→ 保護者の意識向上 → 徹底した指導による注意の喚起
	28 学校環境美化の徹底	①一部整理の行き届いていない教室がある ②清掃の徹底されていない箇所がある	→ 担任による監督、指導 → 清掃の時間、監督者は必ず清掃場所に行く
	29 学校安全点検・管理の徹底	①不十分ではないが、徹底されているかは疑問	→ 安全点検の確実な実施
	30 職員の机上の整理整頓	①職員により乱雑な場面もある	→ 定期的な整理整頓
情報の一元化	31 LANを活用した情報の共有	①共同作業のフォルダが満杯に近い	→ 情報管理で整理整頓
	32 校務処理の効率化	①トラブルが時々ある ②仕事面でのアンバランスさを感じられる	→ 校務処理システムの充実 → 適正な仕事分担
	33 蔵書等の整備と充実	①蔵書や設備の不足	→ より充実させる
	34 図書館の積極的な活用の推進	①一部の生徒の利用にとどまっている	→ 授業等を活用しての利用促進
特色づくり	35 学科の特色が活かされているか	①中学生には特色を理解されてない	→ 生徒・中学生への啓蒙活動
	36 施設・設備の補修と更新	①更新・整備立ち遅れによる整備不足	→ 事務室、各科と連携を取り合い進める
	37 資格取得への積極的な受験指導	①基礎学力や意欲が低い生徒の合格率が低い	→ 資格取得のための講習会の充実